

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年11月30日

会社名 株式会社 ダイナムホールディングス
 U R L http://www.dynam-holdings.co.jp
 代表者 代表執行役社長 (氏名) 佐藤 洋 治
 問合せ先責任者 執行役総合企画部長 (氏名) 田村 登 TEL 03-5850-3260
 配当支払開始予定日 平成22年12月17日

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	441,286	△2.0	12,948	△20.1	12,225	△19.9	5,742	△34.2
22年3月期第2四半期	450,468	△11.3	16,214	△5.0	15,263	△6.1	8,729	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	168.30	-
22年3月期第2四半期	255.50	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	159,007	76,807	48.3	2,253.65
22年3月期	159,302	74,270	46.6	2,173.59

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 76,807百万円 22年3月期 74,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	-	40.00	-	40.00	80.00
23年3月期	-	40.00			
23年3月期 (予想)			-	40.00	80.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	884,000	1.6	28,000	△19.4	27,000	△17.9	13,500	0.4	395.67

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有
新規 1社（社名：株式会社オークワジャパン）、除外 1社（社名：株式会社パチンコリース）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う子会社の異動の有無となります。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 有
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期2Q | 36,363,754株 | 22年3月期 | 36,363,754株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期2Q | 2,282,520株 | 22年3月期 | 2,194,520株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年3月期2Q | 34,119,020株 | 22年3月期2Q | 34,167,501株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記の予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
【第2四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策の効果による個人消費の持ち直しや企業収益の改善により回復の動きが見られたものの、雇用情勢や所得環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの中核事業でありますパチンコホール業界においては、4円パチンコの低調ぶりが深刻な状況にあるものの、低貸玉営業を実施する店舗が全体の7割を超えたことやスロット稼働が回復基調にあることにより、全体としては概ね横這いで推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは、チェーンストア経営企業の社会的な使命として「パチンコを真の大衆娯楽に改革する」という理念のもと、事業活動を展開してまいりました。グループの中核企業である株式会社ダイナムにおいては、「気軽に楽しいコンビニパチンコ、そして健康対策」をキャッチフレーズにした「信頼の森」店舗を12店舗オープンさせました。これにより、第2四半期末現在のグループ全体の店舗数は、全国46都道府県で345店となっております。

資本面では、パチンコホール2店舗を経営する株式会社オークワジャパンを6月1日付で当社の100%子会社とし、連結対象としております。一方、株式会社パチンコリースを当期より連結対象から除外いたしました。これにより、連結の範囲は当社と子会社である株式会社ダイナム、株式会社キャビンブラザ、大黒天株式会社、株式会社オークワジャパン、株式会社日本ヒュウマップおよび株式会社ダイナム土地建物の6社、計7社となりました。また、遊技機に関する情報提供・遊技機関連業務の業務受託・PB機開発を目的とした株式会社ダイナムPトレーディング、販促広告に関するサービスを提供することを目的とした株式会社ダイナムアド企画をそれぞれ7月1日付で設立いたしました。

会計面では、前期に引続きグループ資産一元管理を目的としたグループ会社所有不動産の株式会社ダイナム土地建物への譲渡を推進しております。なお、前期実行した所有不動産の譲渡について、第三者の鑑定評価した資産以外のものまで売却されていたため、当期において損益および税務申告の修正を行っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は4,412億86百万円、営業利益は129億48百万円、経常利益は122億25百万円、四半期純利益は57億42百万円となりました。

当社グループ連結経営成績の状況

区 分	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		前年同期比 金額 (百万円)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	450,468	100.0	441,286	100.0	△9,182
売上原価	425,388	94.4	356,002	80.7	△69,385
売上総利益	25,079	5.6	85,283	19.3	60,203
販売費及び一般管理費	8,865	2.0	72,335	16.4	63,470
営業利益	16,214	3.6	12,948	2.9	△3,266
営業外収益	618	0.1	614	0.1	△3
営業外費用	1,568	0.3	1,337	0.3	△231
経常利益	15,263	3.4	12,225	2.7	△3,038
特別利益	539	0.1	1,587	0.4	1,047
特別損失	198	0.0	3,166	0.7	2,968
税金等調整前四半期純利益	15,605	3.5	10,645	2.4	△4,959
法人税、住民税及び事業税	8,143	1.8	7,537	1.7	△606
過年度法人税等	-	-	716	0.2	716
法人税等調整額	△1,268	△0.3	△3,350	△0.8	△2,081
四半期純利益	8,729	2.0	5,742	1.3	△2,987

(注) 当期より売上原価の計上基準を変更しております。変更の内容につきましては、【添付資料】P. 4「2. その他の情報」をご覧ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億95百万円減少し1,590億7百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ28億33百万円減少し821億99百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ25億37百万円増加し768億7百万円となりました。これらの結果、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べ80円6銭増加し2,253円65銭となり、また、自己資本比率は、前連結会計年度末比1.7ポイント上昇し48.3%となりました。

当社グループの財政状態の状況

区 分	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)		増減額 金額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
(資産の部)					
I 流動資産	43,024	27.0	40,656	25.6	△2,367
II 固定資産	116,278	73.0	118,350	74.4	2,071
1. 有形固定資産	90,691	56.9	92,252	58.0	1,561
2. 無形固定資産	6,321	4.0	6,293	4.0	△27
3. 投資その他の資産	19,266	12.1	19,804	12.4	537
資産合計	159,302	100.0	159,007	100.0	△295
(負債の部)					
I 流動負債	51,022	32.0	48,977	30.8	△2,045
II 固定負債	34,010	21.4	33,222	20.9	△788
負債合計	85,032	53.4	82,199	51.7	△2,833
(純資産の部)					
純資産合計	74,270	46.6	76,807	48.3	2,537
負債純資産合計	159,302	100.0	159,007	100.0	△295

また、キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ65億77百万円増加し、193億5百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、207億60百万円（前年同期比166億83百万円増）となりました。これは、主に、減価償却費61億46百万円、固定資産評価損17億83百万円、未払金の増加41億68百万円、法人税等の支払額19億0百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、81億4百万円（前年同期比3億93百万円増）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出70億66百万円、無形固定資産の取得による支出5億44百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、159億45百万円（前年同期比109億68百万円増）となりました。これは、主に短期借入金の減少額（純額）44億97百万円、長期借入金の減少額（純額）76億43百万円、社債の償還による支出18億45百万円、配当金の支払12億61百万円によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	前第2四半期 連結累計期間	前連結会計年度	当第2四半期 連結累計期間
自己資本比率（％）	45.2	46.6	48.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	7.3	4.0	1.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	4.4	9.5	27.5

自己資本比率：自己資本／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- 2 キャッシュ・フローは、四半期連結（連結）キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。
有利子負債は、四半期連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また利払いにつきましては、四半期連結（連結）キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
- 3 キャッシュ・フロー対有利子負債比率の計算は、前第2四半期連結累計期間・当第2四半期連結累計期間ともに営業キャッシュ・フローを年額に換算するため2倍にしております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、売上高は低貸玉営業への移行が一巡したこと、新規出店による増収効果などから8,840億円（前期比138億77百万円増）と若干の増収となる見込みですが、利益面では、新規出店経費、パーソナルシステムの導入・パチスロ機増台などの設備更新による経費の負担増、パチンコ機械費の増加などから営業利益は280億円（前期比67億15百万円減）、経常利益は270億円（前期比58億79百万円減）とそれぞれ減益となる見込みであります。当期純利益は135億円（前期比47百万円増）と固定資産評価損の減少により前期並みの利益を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要（連結の範囲の変更を伴う子会社の異動）

① 連結の範囲の変更

平成22年6月30日付で株式会社オークワジャパンの全株式を取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

また、前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社パチンコリースは、四半期連結財務諸表における重要性が低下したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

② 変更後の連結子会社の数

6社

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

税金費用の計算

納付税額の算出にあたり加味する加減算項目や税額控除項目を、重要なものに限定する方法を適用しております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより従来の方法に比べ、営業利益、経常利益はそれぞれ95百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は13億63百万円減少しております。

② 売上原価の計上基準の変更

従来、店舗運営に関する一切の費用をもって売上原価とするため、景品原価に加え労務費、遊技機関連費用、設備費等の店舗運営に関する一切の費用を売上原価とする方法を適用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、景品原価のみを売上原価とする方法に変更いたしました。

これにより従来の方法に比べ、売上総利益が619億86百万円増加しております。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,642	23,290
売掛金	349	360
有価証券	-	389
景品及び原材料	5,230	4,571
貯蔵品	1,852	1,626
繰延税金資産	10,306	8,006
その他	2,277	4,781
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	40,656	43,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	57,460	53,680
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	17,958	17,475
土地	15,955	17,202
建設仮勘定	877	2,332
有形固定資産合計	92,252	90,691
無形固定資産		
借地権	4,434	4,402
その他	1,859	1,918
無形固定資産合計	6,293	6,321
投資その他の資産		
投資有価証券	486	257
関係会社株式	2,684	2,617
出資金	119	122
長期貸付金	157	266
建設協力長期貸付金	591	607
保証金	6,860	6,484
長期前払費用	3,177	3,480
賃貸固定資産（純額）	1,363	1,374
繰延税金資産	4,000	3,247
その他	376	821
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	19,804	19,266
固定資産合計	118,350	116,278
資産合計	159,007	159,302

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成22年9月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成22年3月31日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	1,820	1,582
短期借入金	2	4,500
1年以内返済予定の長期借入金	17,347	19,489
1年以内償還予定の社債	1,190	3,040
未払金	7,969	7,261
未払法人税等	8,344	2,045
未払消費税等	661	1,533
未払費用	7,428	7,498
役員賞与引当金	-	31
その他	4,214	4,040
流動負債合計	48,977	51,022
固定負債		
社債	445	740
長期借入金	23,923	28,427
長期未払金	3,264	2,473
退職給付引当金	1,716	1,553
役員退職慰労引当金	390	381
資産除去債務	3,083	-
その他	397	434
固定負債合計	33,222	34,010
負債合計	82,199	85,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	1,022	995
利益剰余金	74,933	72,194
自己株式	△4,112	△3,925
株主資本合計	76,843	74,264
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△35	11
繰延ヘッジ損益	-	△6
評価・換算差額等合計	△35	5
純資産合計	76,807	74,270
負債純資産合計	159,007	159,302

(2) 四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	450,468	441,286
売上原価	425,388	356,002
売上総利益	25,079	85,283
販売費及び一般管理費	8,865	72,335
営業利益	16,214	12,948
営業外収益		
受取利息	24	18
受取配当金	25	41
不動産等賃貸収益	303	324
保険事務手数料	6	-
リサイクルカード受入益	138	133
その他	118	95
営業外収益合計	618	614
営業外費用		
支払利息	913	760
不動産等賃貸費用	185	143
シンジケートローン等手数料	439	418
休業店舗等管理費用	10	-
その他	19	14
営業外費用合計	1,568	1,337
経常利益	15,263	12,225
特別利益		
過年度固定資産評価損修正益	-	1,478
負ののれん発生益	517	-
その他	22	109
特別利益合計	539	1,587
特別損失		
固定資産売却損	-	1
固定資産除却損	53	2
固定資産評価損	-	1,783
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,267
特殊景品廃棄損	24	-
デリバティブ評価損	27	-
貸倒損失	38	-
その他	53	111
特別損失合計	198	3,166
税金等調整前四半期純利益	15,605	10,645
法人税、住民税及び事業税	8,143	7,537
過年度法人税等	-	716
法人税等調整額	△1,268	△3,350
法人税等合計	6,875	4,903
四半期純利益	8,729	5,742

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,605	10,645
減価償却費	5,582	6,146
のれん償却額	-	172
負ののれん発生益	△517	-
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	99	163
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	16	18
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△39	0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	△30
受取利息及び受取配当金	△50	△60
支払利息	913	760
投資有価証券評価損	0	-
過年度固定資産評価損修正益	-	△1,478
固定資産評価損	-	1,783
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,267
売上債権の増減額 (△は増加)	37	11
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△425	△883
仕入債務の増減額 (△は減少)	113	222
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△136	75
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△44	△39
未払金の増減額 (△は減少)	△3,130	4,168
未払費用の増減額 (△は減少)	278	31
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△596	△852
その他	455	1,232
小計	18,132	23,358
利息及び配当金の受取額	54	55
利息の支払額	△923	△752
法人税等の支払額	△13,186	△1,900
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,077	20,760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,500	△254
定期預金の払戻による収入	2,000	219
有形固定資産の取得による支出	△6,399	△7,066
無形固定資産の取得による支出	△520	△544
投資有価証券の取得による支出	△110	△23
貸付による支出	△125	-
貸付金の回収による収入	41	118
子会社株式の取得による支出	△124	△17
賃貸固定資産の取得による支出	-	△10
その他	30	△527
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,710	△8,104

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	14,200	2,002
短期借入金の返済による支出	△10,860	△6,500
長期借入れによる収入	6,000	3,650
長期借入金の返済による支出	△11,247	△11,293
社債の償還による支出	△1,360	△1,845
割賦未払金の返済による支出	△167	△537
自己株式の取得による支出	△309	△274
自己株式の売却による収入	33	114
配当金の支払額	△1,265	△1,261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,977	△15,945
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,609	△3,290
現金及び現金同等物の期首残高	21,338	22,603
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△8
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,728	19,305

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。